持続的成長の基本構造　- 基本的な構造 -

Ⅰ. 供給サイド

①イノベーションによる生産性（全要素生産性・TFP）の改善

②設備投資の促進

＋　海外の需要を取り込む

③労働力の確保（量、質、効率的活用）

当面即効性があって、国民的合意が得られる

量

子供が増える

○最も重要であるが
即効性に欠ける

外国人労働者

○受け入れ環境の整備等
国民のコンセンサス形成
に一定の時間がかかる

女性の社会参画

○25年の女性の労働力率は
６４．３％で過去最高。
※待機児童解消加速化プラン
→29年までに40万人分

高齢者が働く

○日本の高齢者は欧米と異なり、働く意欲が高い。25年の全就業者に対する65歳以上の比率は１０％を超え、労働力率は24年で19.9%に達する

なるべく多くの国民が健康長寿を享受し、意欲があれば働き続け、社会に参画し、
プライドと生きがいを持って生活するための基盤

質

基本的には健康

○グローバル人材の育成等教育改革

○高齢者の経験・能力

○ 生涯学習職業訓練の充実

効率的活用

働き方改革（同一労働同一賃金の実現、長時間労働の是正など）
：一億総活躍社会実現